

## 学校関係者評価委員会報告書

少友幼稚園ダンス講師  
平松み紀

令和2年2月12日（水）に吉野悦子園長と梶山正美先生、平松み紀の3名で学校関係者評価委員会を開催しました。以下、項目に沿ってご報告いたします。

① 自己評価内容が適切であったか。

今年度は萌文書林出版「保育者のための自己評価チェックリスト」を使用して年に2回自己評価を行う機会を設けていました。365問からなる質問に「はい」「いいえ」で回答したのちに「自分の気付き」を記入し、さらに気付きの大きかったものを3点にまとめる項目があり、各教諭の現在の保育での立ち位置が明確に読み取れました。

項目は以下の通りです。

- 第1章 総則 教育・保育のねらい
- 第2章 「ねらい」及び「内容」
- 第3章 健康及び安全
- 第4章 子育て支援
- 第5章 職員の資質向上

② 重点的に取り組むことが必要な目標や計画について。

今回の自己評価表では各教諭が幼児を理解することに努めている姿勢が見られ、今後保育の資質向上に期待したいと思います。しかしその一方で健康及び安全に関して不安があることが見受けられました。具体的には、環境・衛生管理・安全管理、災害への備えが上がり園内で共通認識を持つ必要があると思います。研修で学んでいる教諭を中心にマニュアル作成や掲示をして保護者や地域の方々にも伝えていくと広い範囲で園を見守ることになるでしょう。専門家の研修や警察署の不審者対応などを望む声も上がっていることから教諭が安心して保育ができる環境作りがこれからの取り組みと感じます。

次年度の保育に関しては吉野悦子園長より縦割り保育の担任を中堅の教諭と新人の教諭が組み、保育補助の教諭がサポートすると報告がありました。さらに月ごとに「素材」を決めて保育内容の充実をはかり、教諭の個性を発揮していただきたいと話がありました。新鮮なアイデアで日々保育の喜びを感じてもらいたいと思います。

以上